



令和7年度 4月号 令和7年4月7日

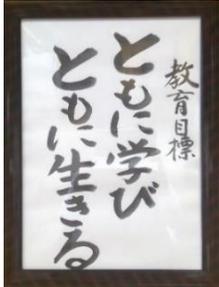
上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

ともに学び ともに生きる 上原小

校長 佐伯 孝司



本校の教育目標です。私は、この目標を大切に、誇りに思っています。児童が、この学び舎で様々なつながりをもつことの価値、伸びゆく姿を認め支え合う日々の価値が、児童にも分かりやすい言葉に凝縮されているように感じます。

お子様のご進級、ご入学、おめでとうございます。この教育目標のもと、一年間、次のような学校の姿をめざしてまいります。

上原小教育目標

ともに学び ともに生きる

- 児童が、すすんで関わり生かし合い、「ありがとう」が生まれる学校
- 児童が、自らの変容に気付き、「学びがい」を感じる学校
- 児童が、自他を尊重し、「やさしさ」を感じる学校
- 児童が、心と体の健康に関心をもち、「元気」を感じる学校

この姿に向けて、まずは次の4つのことを大切に、教育活動に取り組んでいきたいと考えます。

「言葉の力」思いや考えの言語化・可視化 伝える・伝え合う活動による深まりと広がり 優しい言葉

「学びの自覚」学びの価値の自覚 学びのつながりの自覚 自己の変容の自覚 児童の主体的な取組の推進

「ふれあい」多様な他者との交流 自他を尊重する態度 人との関わりを自己の成長に生かす態度

「心と体への関心」運動の楽しさや仲間と共に挑戦する楽しさの体験 心と体の健康への関心

校庭の桜は、美しい姿を見せています。心を動かされる美しい姿は、それだけではありません。つぼみがまだ桜色とは言えないまま枝先で固まっている姿、膨らみつつある姿、少しずつつ色付きほころぶ姿、満開の華やかな姿、そして花びらが舞い、葉の色が濃くなっていく姿。成長の過程で見せる様々な姿に美しさを感じます。一連の変容の過程に喜びを感じます。

児童も、花を咲かせようと希望をもち、どんな花をどのように咲かせたいかという目標を決め、つぼみの姿を変容させていきます。その過程で立ち止まったり、乗り越えようとしたり、手をつないだりする姿にも、美しさと喜びを感じます。私たちは、その全ての過程において、児童の変容を見出し、その気持ちを受け止めつつ支援しながら、その美しさを児童自身に伝えようとする教職員集団でありたいと考えます。児童がすてきな自分の姿に出会い、自己肯定感・有用感をもち、誰かを思いやり、誰かの役に立てる自分を見付け、周りの人の存在のありがたさを感じながら学校生活を充実させてほしいです。その過程で、また、その過程を振り返って、たくさんの「ありがとう」を生み出していく一年間をつくりたいと思います。今年度も、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



★本校教員の勤務時間は、8時10分～16時40分です。電話対応や面談は、原則として勤務時間内で行います。上原小学校では、教職員の働き方改革を推進しております。ご理解・ご協力をお願いいたします。